

敷兩面端猶可儲歟

疊

公卿家無高麗紫 綠端准高麗 黃端准紫 兩面端准經網其體似錦

〔門室有職抄〕御所御裝束事

緣ニ疊ヲ敷ハ端ヲ可責也前ヲ爲道經網ノ緣疊茵不鋪バ不可敷シト子ハ公卿非參議已上ノ家

ニ可敷也然者雖法橋不依禪里可敷也大文高麗ハ寢殿母屋ニ非バ不可敷何人家ニモ敷也

〔類聚名物考調度四〕疊敷様の事

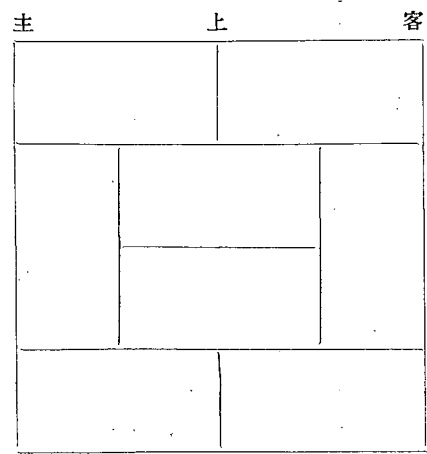
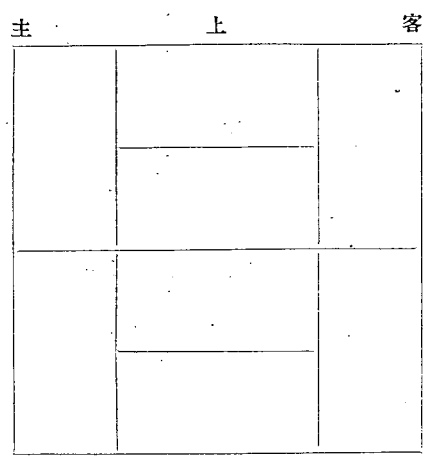
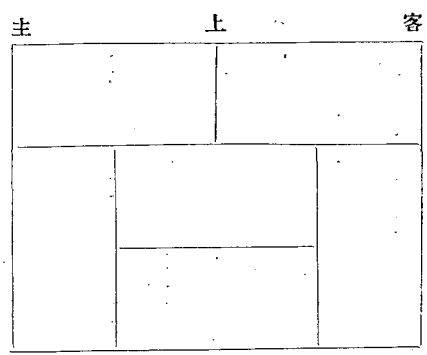
伊勢家禮式 坐敷に疊敷べき様の事 本をば何疊敷てもまはりしきに敷物也必床の前を上

て横疊に敷もの也横疊四帖ならべてしかぬものといへり

〔疊之卷〕夫疊の制上古よりありし物にて日本紀神代の卷に八重席タビを敷と有是疊のはじめ也

八疊敷、愁の時如此

八疊敷、祝ひに吉、何も如此



一とをりの間の疊は、何も横に敷也